

# 浄土九品の事

文永六年

四八歳

難行・易行。聖道・浄土。雑行・正行。諸行・念仏。

法然房の料簡は諸行と念仏と相對なり。

二義 一勝劣、一難易。

┌ 廢立

一に諸行を廢して念仏に歸せんが為に而も諸行を説くなり。

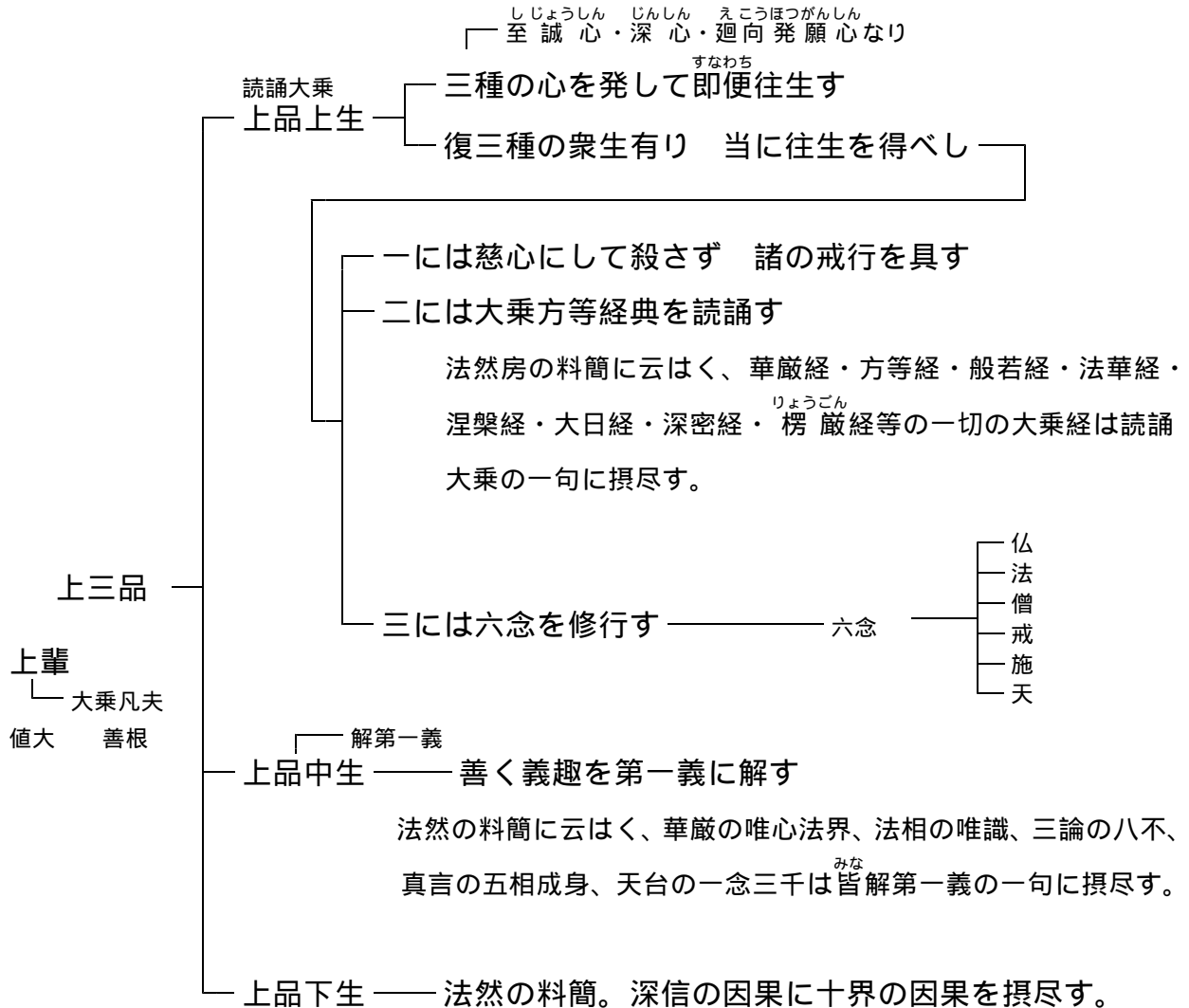
┌ 助正

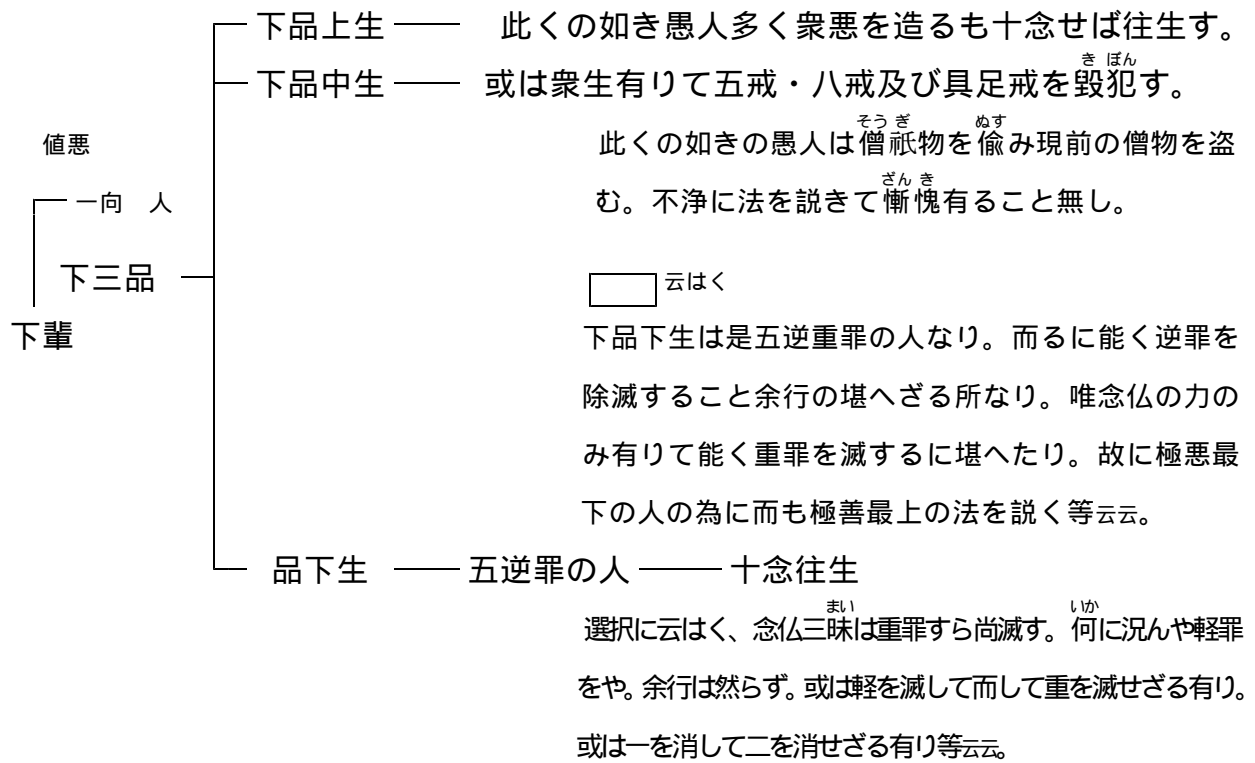
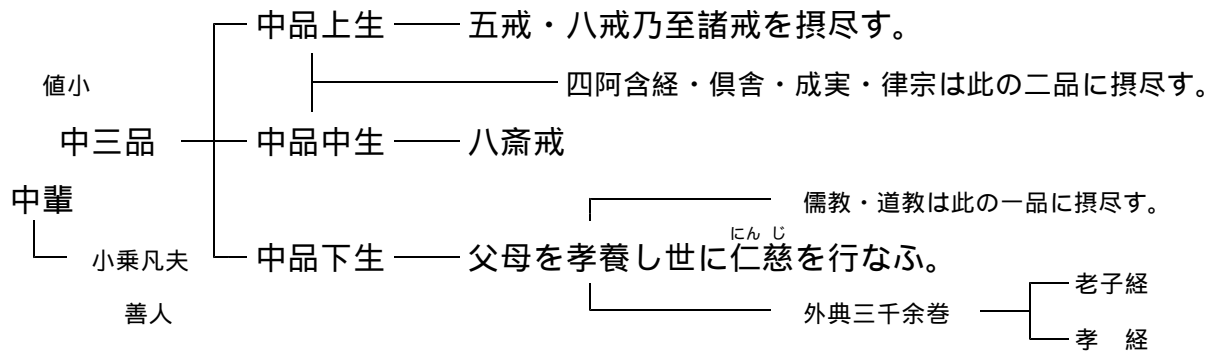
二に念仏を助成せんが為に而も諸行を説くなり。

┌ 傍正

三に念仏・諸行の二門に約して各三品を立てんが為に而も諸行を説くなり。

若し善導に依らば初めを以て正と為すのみ。





捨閉閣拋 (しゃへいかくほう)  
 法華經等の一切經  
 釈迦仏等の一切諸仏  
 天台宗等の八宗九宗世天等

浄土三部經阿彌陀仏よりの外なり

安樂集に云はく

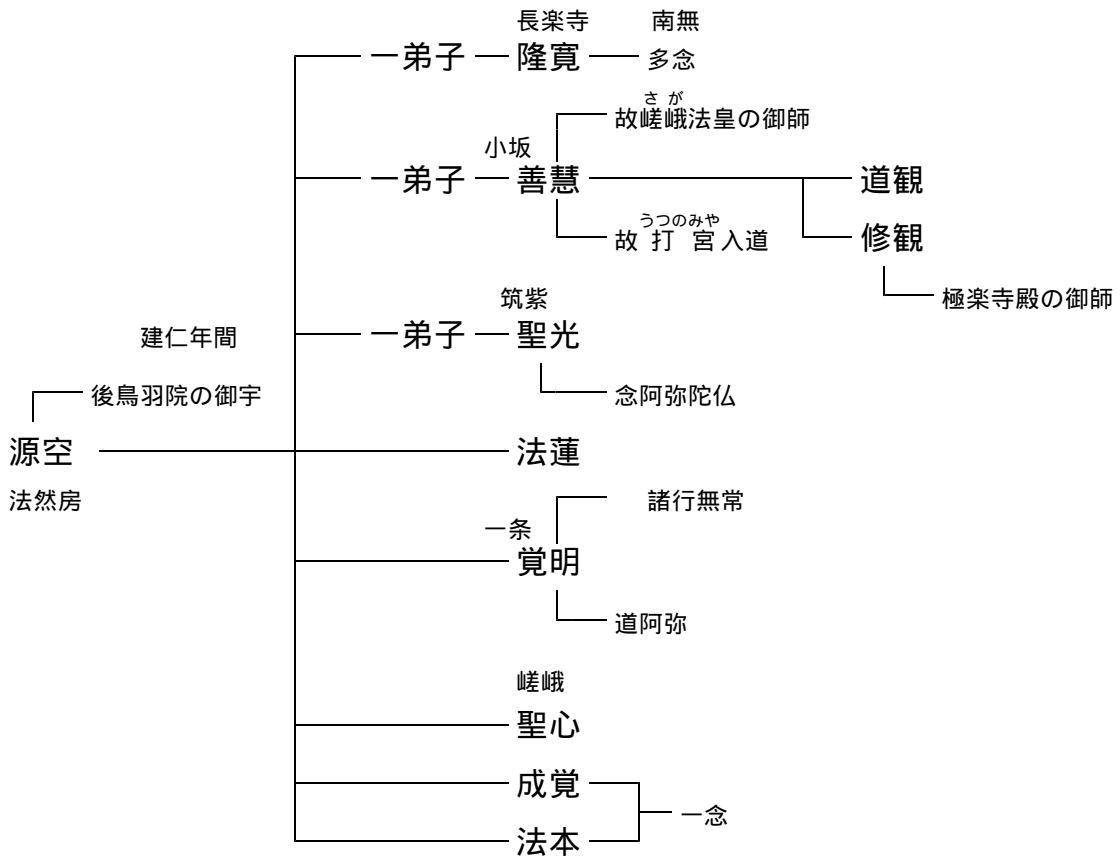
未だ一人も得る者有らず。

唯浄土の一門のみ有りて通入すべき路なり。

往生礼讚に云はく

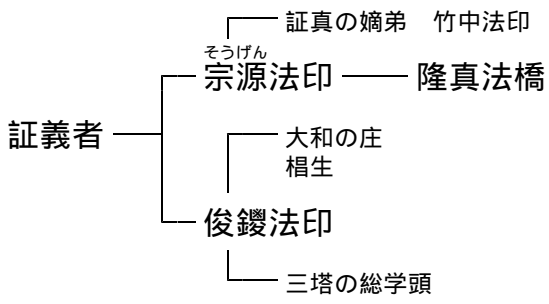
千中無一

十即十生・百即百生

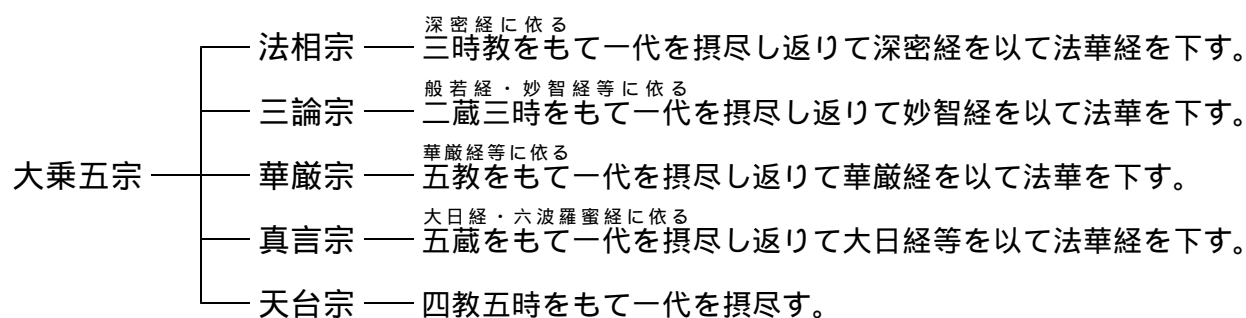
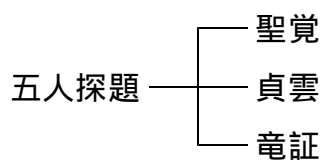


**顕真座主**  
 八人の碩徳  
 公胤大弍僧上 浄土決疑集三巻を造りて法然房の選択集を破す、  
 隨機の諸行皆往生を為すべし等云云。

故室地房法印証真の弟子  
 上野清井者  
**定真堅者** 弾選択二巻を造る。隨機諸行往生



三千人の大衆



けん がつ  
 梟の額を州に打ち  
 こしゃく  
 牛跡に大海を入る。

伝教大師此の義を許すや不いなや

「夫三時の教は勝義の領解にして一了の聞は義生の機宜なり、  
 猶三了を闕かく、何ぞ一代を撰せん」と。

華嚴云はく、三論云はく、真言等云云。